TE 805

HILTI

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ご使用上の注意事項は、「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注 意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注 意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警 告

1 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

6 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

8 きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9 保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10 コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

11 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

12 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

13 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社直営のヒルティセンター、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

14 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 使用しない、または、修理をする場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

15 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

16 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

19 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社直営のヒルティセンター、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社直営のヒルティセンター、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

20 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- 取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

21 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社直営のヒルティセンター、あるいは弊社営業担当者にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

22 この電動工具の修理は必ずヒルテイの認定修理店で行ってください。当工具の修理は標準取扱安全ガイドラインに則って行わなければなりません。故障や事故の原因になりますので、修理にはヒルテイ純正またはヒルテイ指定スペアパーツのみを使用してください。

23 チャックの固定：刃先(チゼル、ビット)がチャックにしっかりと固定されていることを確認してください。

24 作業対象が電気を通す材質の場合、電動工具内部に導電性の塵が溜まり、往々にして漏電や感電の発生原因になります。作業内容として、鋳造物のグラインディング、インパクトツールを使った硬質金属のハツリ、上向きのドリリング、また特定の条件の下での天井(コンクリート)鉄筋切断工事の例があげられます。これらの用途に使用される電動工具は、認定専門店またはヒルテイ修理店にて定期的に検査し、本体内部に危険な導電性の塵が溜まっていないことや、本体の絶縁性が万全であることを確認してください。

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

電動ブレーカー使用上の注意

安全上のご注意

　このたびは、ヒルティTE805電動ブレーカーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

　ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」を最初から最後までよくお読みください。

・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「使用上のご注意」を必ず守ってください。
・ご使用前に、この「使用上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
・ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警　告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注　意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠注　意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

⚠ 警　告

1.使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
　・表示を越える電圧で使用すると、打撃が異常に高速となり、けがの原因になります。
2.作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
　・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3.使用中は、サイドハンドルを付けたまま本体を両手で確実に保持してください。
　・確実に保持していないと、けがの原因になります。
4.使用中は、工具類や作業面等に手や顔などを近づけないでください。
　・けがの原因になります。
5.使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社直営のヒルティセンター、弊社営業担当者に点検・修理を依頼してください。

⚠ 警　告

　・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6.誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
　・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7.石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注　意

1.工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
　・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2.騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
3.作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
4.作業直後の工具類は高温となっているので、触れないでください。
　・やけどの原因になります。
5.高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。またコードを引っかけたりしないでください。
　・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6.作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
　・けがの原因になります。

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

安全上の注意

注意事項

1 に記載された安全上の注意事項は、電動工具に関するすべての基本的な安全情報を含んでおり、準拠する規格に応じた注意事項がこの取扱説明書に記載されています。したがって、この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

1. 電動工具の一般安全注意事項

a)

警告事項！ 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。安全上の注意および指示事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。**安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。**

安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

1.1 作業環境に関する安全

a) **作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。**ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。

b) **爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。**電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。

c) **電動工具の使用中、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。**作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

1.2 電気に関する安全注意事項

a) **電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。**オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。

b) **パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。**体が触れると感電の危険が大きくなります。

c) **電動工具を雨や湿気から保護してください。**電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。

d) **電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。**コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。

e) **屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。**屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。

f) **l湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、漏電遮断機を使用してください。**漏電遮断機を使用すると、感電の危険が小さくなります。

1.3 作業者に関する安全

a) **電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。**電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

b) **作業保護具および保護メガネを常に着用してください。**けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。

c) **電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および／またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。**オン／オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。

d) **電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。**調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。

e) **作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。**これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。

f) **作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。**だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。

g) **吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。**吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

1.4 電動工具の使用および取扱い

a) **無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。**適切な電動工具の使用により、能率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。

b) **スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。**スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。

c) **本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。**この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。

d) **電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。**未経験者による電動工具の使用は危険です。

e) **電動工具は慎重に手入れしてください。電動工具の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。**発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

f) **先端工具をきれいに保ってください。**お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。

g) **電動工具、アクセサリー、先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。この際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。**指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

1.5 サービス

a) **電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。**これにより電動工具の安全性維持が確実におこなわれます。

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

2 その他の安全上の注意

2.1 作業場

a) **耳栓を着用してください。**騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
b) **補助ハンドル（付属されている場合）を使用してください。**これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
c) **埋設された電線や装置自体の電源コードに先端工具が接触する可能性のある作業では、本体の絶縁されたグリップ面を持ってください。**先端工具が通電状態の配線と接触すると、露出した金属部分に電圧がかかり、作業者に感電の危険が生じます。

d) **足元を確かにし、常にバランスを保ちながら作業してください。**不安定な姿勢はとらないでください。
e) **本体に集じん装置を取り付けないで作業をする場合、作業者の方は防じんマスクを着用しなければなりません。**
f) **休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。**
g) 作業中の落下を防止するため、**常に電源コード、延長コードが本体の背後にくるようにしてください。**
h) **本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。**
i) **本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。**
j) 含鉛塗料、特定の種類の木材、鉱物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシやブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が処理を行うようにしてください。**できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、当電動工具に適したヒルティ推奨の木材／鉱物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。**

2.2 使用者に留意して頂くこと

a) **作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス菅や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。**例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。
b) **本体の電源コードを定期的に点検し、コードに損傷がある場合は資格のある修理スペシャリストに交換させてください。延長コードを定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。作業中、損傷した電源コード、延長コードには触れないでください。不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。**損傷した電源コードや延長コードは感電の原因となり危険です。
c) **伝導性のある母材に対して作業を頻繁に行う場合は、定期的にヒルティリペアセンターに本体の点検を依頼してください。**本体表面に特に導電性のある粉じんや水分が付着すると、時に感電の恐れがあります。

2.3 電気に関する安全注意事項

a) **使用する先端工具がチャック機構に適合し、チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。**
b) **電源を切る場合は、本体のスイッチをオフにしてから電源プラグを抜きます。** これで、電源プラグを再びコンセントに差し込んだ時に本体が不意に始動するのを防ぐことができます。

2.4 電気工具の取扱いと手入れ

a) **作業場の採光に十分配慮してください。**
b) **作業場の換気に十分配慮してください。**作業場の換気が十分でないと、塵埃による汚染で健康が害される恐れがあります。

2.5 個人保護用具

本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、ヘルメット、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。

保護メガネを着用してください

保護ヘルメットを着用してください

耳栓を着用してください

保護手袋を着用してください

粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください

電気工具の一般的な安全上の注意は、この取扱説明書に記載した電気工具に対する製品固有の注意をすべて含んでいます。「1.3 c､d､f､g」 の注意はこの電気工具には当てはまりません。

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

ヒルティTE805電動ブレーカー

仕　様

項目	仕様
消　費　電　力	1,350W
電　源　電　圧	100V
消　費　電　流	14.4A
周　　波　　数	50〜60Hz
重量 (EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	10.3kg
本　体　寸　法	600×120×230mm
全負荷打撃数	2,000打／分
1打当り打撃力	17ジュール
ハ　ツ　リ　能　力	1,200㎤／分以上
チゼル（ハツリ用ノミ）	ブルポイント、コールドチゼル他各種
チャックタイプ	TE-S
永久潤滑構造	
調整式サイドハンドル	
シーソー型ON/OFFスイッチ	
フォームラバー付防震グリップ／サイドハンドル	
自動遮断カーボンブラシ	
電子アイドリング速度調整装置	
二　重　絶　縁	
テレビ・ラジオ電波妨害防止器内蔵	

本体標準セット構成品

1　本体
1　サイドハンドル
1　グリス
1　ウエス
1　取扱説明書
1　本体ケース

警告表示

ご使用の前に

1.電源は、必ず100Vを使用して下さい。
2.本機は二重絶縁構造ですのでアースをとる必要はありません。
3.チゼルを作業面へ過度に押さえつけても、能率は上がりません。
　軽く母材に押しあてる程度で作業を行って下さい。

チゼル等の手入れ（写真1）

チャックはTE805の永久潤滑構造に含まれません。チゼルの結合部をきれいにし、定期的に付属のグリスを塗布して下さい。

低温での運転

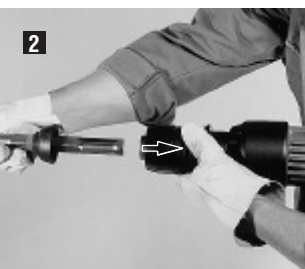
低温での始動時は、しばらくの間、母材表面に対しチゼルを強く押しつけて下さい。最大能力発揮までの時間が短縮されます。

ー注意事項ー

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください。(例:電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

標準的な本体のA-補正値	ノイズレベルは：
－サウンドプレッシャーレベル	101 dB（A）
－サウンドパワーレベル	90 dB（A）

EN 60745 に準拠、測定した上記騒音レベルの誤差は、3dB です。
耳栓着用

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計) EN 60745-2-6 に準拠	
ハツリ作業, ($a_{h, Cheq}$)	15.0 m/S²
3 軸の振動値の不確実性 (K)	1.5 m/S²

製品改良のため、予告なしに外観仕様等を変更することがあります。

操作方法

チゼルの取付け、取りはずし方法（写真２）
ロッキングスリーブを手前に引き、チゼル結合部をチャックに差し込みロッキングスリーブを解除します。
きちんと装着されていればチゼルを引っ張っても抜けません。もし抜けるようであれば、チゼルが充分奥まで入っていないか或いはきちんとロックされていない事が原因として考えられます。最初からやり直して下さい。
チゼルを取りはずす時は、ロッキングスリーブを手前に引きそのままチゼルを引き抜いて下さい。

サイドハンドルの調整（写真３）
サイドハンドルは、360°及び前後に調整可能ですので、作業に最適な位置に合わせて下さい。

始動（写真４）
スイッチを押し作業面に当てて、斫り作業を行って下さい。本機はシーソー型のスイッチを採用しておりますので、スイッチを押し続ける必要はありません。

修理・サービス

ヒルティの電動工具は、各々安全を充分に考慮した設計になっておりますので、修理の際は必ずお買上げ店または弊社直営のヒルティセンター、弊社営業担当者にご相談下さい。

チゼルの保守

ブルポイント、コールドチゼルの再研磨
わずかの場合であれば焼き入れが戻らない程度再研磨することができます。再研磨の際、色が変わらないよう注意して下さい。

再鍛造の場合
磨耗がひどい場合や一部欠けている場合は次のように再鍛造できます。

先端を約80mmほど1000°～1100℃（明るい紅色または黄色）に加熱します。再鍛造後、水の中に入れたりせず室温で冷まして下さい。焼き戻しはしないで下さい。

本体の手入れ

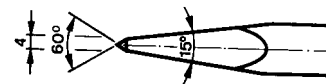
注意
本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分は合成ゴムを使用しています。
通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

チゼル類の研磨角度
ブルポイント

コールドチゼル

スケーリングチゼル

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00

廃棄

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。 この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正部品、構成部品、およびスペアパーツのみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、装置の寿命期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、厳格な国内法がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

Printed: 07.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5136362 / 000 / 00